

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : ワンウェイコート（混和液）
会社名 : 秩父コンクリート工業株式会社
住所 : 東京都台東区上野 7-7-6
担当部門 : 営業本部
電話 : 03-3844-5062
F A X : 03-3844-5087
緊急連絡先 : 生産・技術本部 熊谷工場 048-521-2161
奨用途及び使用上の制限 :
作成・改定日 : 2015年3月19日

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
	水生環境有害性（急性）	区分3

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な眼の損傷
水生生物に有害

注意書き

《安全対策》

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋／保護衣／保護メガネ／保護面を着用すること。
粉じん／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い場所で使用すること。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
容器に余った製品や容器を洗った洗浄水は絶対に河川に流さないこと。
環境への放出を避けること。

《応急措置》

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗浄すること。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
ばく露した場合、又はばく露の懸念がある場合及び気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。
漏洩した場合は布等で拭き取ること。
飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し、気分が悪い場合は医師の処置を受けること。

《保管》

容器を密閉し、換気の良いところで保管すること。

《廃 棄》 凍結（3℃以下）や高温（40℃以上）は避け、屋内で保管すること。
 内容物／容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。
 残液や洗浄水は絶対に河川に流さないこと。
 残滓は産業廃棄物として適切に処理すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 化学名又は一般名 : アクリル系共重合体ラテックス

含有成分

成 分	含有量 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法	安衛法	
アクリル系共重合体	43.0	—	—	未登録
ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル	2.4	(7)－97	—	登録済
水	50.5	—	—	7732-18-5
その他添加剤（鉱油として0.2%含有）	4.1	—	—	非公開

4. 応急措置

眼に入った場合 : 速やかに清浄な水で最低 15 分洗眼した後、医療処置を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 速やかに水で洗い流し、必要に応じ医療処置を受ける。
 吸入した場合 : 速やかに新鮮な空気のある場所に移し、咳等が治まらなければ医療処置を受ける。
 飲み込んだ場合 : 速やかに医療処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水、泡消火剤、粉末消火剤
 使ってはならない消火剤 : 特になし
 特有の危険有害性 : ラテックス状態では不燃である。乾燥物は可燃であり、燃焼ガスには二酸化炭素、一酸化炭素等のガスが含まれるので、消火作業の際には煙を吸入しないように注意すること。
 特有の消火方法 : 消火作業は、風上から行うこと。
 消火を行う者の保護 : 消火作業の際には、必要に応じて適切な保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 ・作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用すること。
 ・周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止すること。
 ・付近の着火源、高温体および付近の可燃物を素早く取り除くこと。
 ・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備すること。
 環境に対する注意事項
 ・河川への排出等により、環境への影響を起ささないように注意すること。
 封じ込め及び浄化の方法及び機材
 ・多量に流出した場合は毛布、土嚢等を用いてせき止め、バキューム等で汲み上げたり、硫酸バンド等の凝集剤を散布して凝固させ、少量の場合でも水で流さずボロキレ等で拭き取り、回収後、13.の項に従い処理すること。
 二次災害の防止策
 ・滑りやすくスリップ事故の原因となる為、漏れた状態で放置しないこと。漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い
 技術的対策 : 取扱い場所の近くに洗眼、水洗設備を設けることが好ましい。
 屋外又は換気のよい場所で使用すること。
 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
 安全取扱注意事項 : 保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 できるだけ蒸気（揮発成分）を吸入しないこと。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ

- ること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
- 接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 保管
保管条件
適切な保管条件 : 容器を密閉し、換気の良いところで保管すること。
凍結（3℃以下）や高温（40℃以上）は避け、屋内で保管すること。
皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵すること。
- 混触禁止物質との分離 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。
安全な容器包装材料 : 内面コートされた金属容器及びプラスチック容器が望ましい。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- ・取扱いについては出来るだけ密閉された装置、機器を使用する。
- ・取扱い場所の近くに洗顔、水洗設備を設けることが好ましい。

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会（2007年版）	鉛油ミスト	3mg/m ³
ACGIH（2008年版）	鉛油ミスト	TWA 5mg/m ³ STEL 10mg/m ³

保護具

- 呼吸器の保護具 : 防毒マスク（有機ガス用）
手の保護具 : ゴム又は樹脂製の保護手袋
眼の保護具 : 樹脂製のゴーグルタイプ、保護面
皮膚及び身体の保護具 : 樹脂又は厚手の布地製の長袖、長ズボン

衛生対策

- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 色 : 乳白色
臭い : 微アクリル酸エステル臭
形状 : 液体
pH : 7.0～9.0
凝固点 : 約 0℃
沸点 : 約 100℃
引火点 : なし
爆発範囲（下限） : なし
（上限） : なし
蒸気圧 : データなし
蒸気密度 : データなし
比重 : データなし
溶解度 : 水に対し無限大に希釈可能
n-オクタール／水分分配係数 : データなし
自然発火温度 : 自然発火せず
分解温度 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の取扱い条件においては安定で危険性はない
危険有害反応可能性 : 特になし
避けるべき条件 : 凍結（3℃以下）や高温（40℃以上）は避けること
混触危険物質 : 水と接触して発熱するもの及び有害ガスを発生するおそれのあるものとは同一場所に貯蔵しないこと。
危険有害な分解生成物 : 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

- 急性毒性（経口）：（製品データ） 区分外
（成分データ）
・アクリル系共重合体
経口 ラット 類似品の試験結果から区分外と推定
・鉱油
経口 ラット LD50 > 5,000mg/kg 区分外
・ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル
経口 ラット LD50 544mg/kg 区分 4
- 急性毒性（経皮）：（製品データ） 情報なし
（成分データ）
・アクリル系共重合体
経皮 ラット 類似品の試験結果から区分外と推定
・鉱油
経皮 ラット LD50 > 5,000mg/kg 区分外
・ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル
経皮 ウサギ LD50 2,000mg/kg 区分 4
- 急性毒性（吸入）：（製品データ） 情報なし
（成分データ）
・鉱油
吸入（粉塵、ミスト） ラット LC50=2.18mg/L 区分 4
・ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル
吸入（ミスト） ラット LC50 1.5mg/L 区分 4
- 皮膚腐食性/刺激性：（製品データ） 情報なし
（成分データ）
・ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル
CERI・NITE 有害性評価書No.89（2005）のウサギを用いた皮膚刺激性試験の記述より 区分 2
・鉱油
ウサギを用いた試験において軽度の刺激性を認めている複数の報告（IUCLID（2000））に基づき 区分 3
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：（製品データ） 区分 1 重篤な眼の損傷
（成分データ）
・ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル
CERI・NITE 有害性評価書No.89（2005）のウサギを用いた眼刺激性試験の記述より「非常に強い刺激性を有し、21 間以内に回復しない」ことから 区分 1
・鉱油
ウサギを用いた試験により、軽度の刺激性と記述されている報告（IUCLID（2000））があることから 区分 2B
- 皮膚感作性：（製品データ） 情報なし
（成分データ）
・鉱油
モルモットを用いた OECD Guideline406 に準拠した複数の試験（maximization test を含む）において、いずれも感作性なしとの結果が得られているので 区分外
- 呼吸器感作性： 情報なし
- 生殖細胞変異原性：（製品データ） 情報なし
（成分データ）
・ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル
CERI・NITE 有害性評価書No.89（2005）の記述から、経世代変異原性試験なし、生殖細胞 in vivo 変異原性試験なし、体細胞 in vivo 変異

原性試験で陰性の結果から 区分外

- 発がん性 : (製品データ) 情報なし
(成分データ)

 - ・ 鉱油
ラットを用いた細胞遺伝学的試験[染色体異常試験] (体細胞 in vivo 変異原性試験) における異常細胞の増加 (IUCLID (2000)) に加え、職業ばく露を受けたヒトの末梢血リンパ球で染色体異常の頻度増加が観察された (IARC suppl.7(1987)) こと、および生殖細胞 in vivo 遺伝毒性試験の情報がないことに基づき 区分 2

- 生殖毒性 : (製品データ) 情報なし
(成分データ)

 - ・ 鉱油
IARC(1987)により未精製又は軽度処理油はグループ 1、高度精製油ではグループ 3 に分類され、ACGIH(2006)の提案もほぼ同様の分類と言える。産衛学会(1977)では未精製および半精製品として第 1 群に分類されている。
本製品に使われている鉱油は高度精製油であり 区分外
 - ・ ポリ (オキシエチレン) =アルキルエーテル
CERI・NITE 有害性評価書No.89 (2005) の記述から、ラットの生殖毒性試験、催奇形性試験において、生殖毒性影響がみられていないことから 区分外

- 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : (製品データ) 情報なし
(成分データ)

 - ・ ポリ (オキシエチレン) =アルキルエーテル
実験動物については「傾眠、運動性亢進」、「運動失調」(RTECS2006)との記述があることから、麻酔作用を有すると考えられた。
区分 3 (麻酔作用)
 - ・ 鉱油
ラットに吸入ばく露した試験により、肺に肉眼的、病理組織学的な急性変化 (詳細不明) が用量依存的 (1.51~5.05mg/L) に見られた。
区分 2 (肺)

- 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : (製品データ) 情報なし
(成分データ)

 - ・ 鉱油
長年にわたり鉱油、あるいはそのミストのばく露を受けたヒトで肺線維症、脂肪肺炎、肺の脂肪肉芽腫が報告され (ACGIH (2001)、IARC33 (1984)、EHC20 (1982)、また疫学調査において切削油への職業暴露により重度の毛嚢炎の発生が報告されている。区分 1 (肺、皮膚)

- 吸引性呼吸器有害性 : (製品データ) 情報なし
(成分データ)

 - ・ 鉱油
ヒトで鉱油の摂取により肺への吸引を起こし、その結果油性肺炎または化学性肺炎をもたらすとの報告。区分 1

12. 環境影響情報

- 水生環境急性有害性 : (製品データ) 区分 3 (但し、未知成分 50%以上含有する) 水生生物に有害
(成分データ)

 - ・ ポリ (オキシエチレン) =アルキルエーテル (エチレンオキシド^oの付加モル数 12 の場合)
オオミジンコ 48 時間 EC50=1.4mg/L 区分 2
- 水生環境慢性有害性 : 情報なし
- 残留性・分解性 : 情報なし
- 生体蓄積性 : 情報なし

土壤中の移動性 : 情報なし
他の有害影響 : 特になし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 :
処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。
残液や洗浄水は絶対に河川に流さないこと。
残滓は産業廃棄物として適切に処理すること。

汚染容器及び包装 :
関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器は内容物を完全に除去してから処分すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 : 非該当
品名（国連輸送品） : 非該当
国連分類 : 非該当
容器等級 : データなし
海洋汚染物質 : データなし
MARPOL : 非該当
緊急時応急措置指針番号 : 該当しない

国内規制

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定める運送方法に従うこと。
荷送り人は運送者に運搬注意書（イエローカード等）を交付すること。

海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送 : 航空法の定めるところに従うこと。

輸送の特定の安全対策及び条件

- ・取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。
- ・容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 第 57 条の 2 第 1 項 通知対象物質 政令番号 168 号 鉍油
化審法 : 該当しない
高圧ガス保安法 : 該当しない
化学物質管理促進法 : 第 1 種指定化学物質 政令番号 407 号
ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル

消防法 : 該当しない
毒物及び劇物取締法 : 該当しない
船舶安全法 : 該当しない
水質汚濁防止法 : 該当しない

16. その他の情報

引用文献

- ・日本産業衛生学会誌 49 149-160 (2007)
- ・TLVs and BEIs, ACGIH (2008)
- ・GHS 分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ

※ 注意

安全データシートは危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業所は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずる事が必要である事を理解した上で、活用されるようお願いします。

記載した内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報

は新しい知見により、改定されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。本製品を使用するに当たって、提供された情報を適用するかどうかの最終的な決定は使用者の責任で行って下さい。全ての物質は、未知の危険性を呈する可能性があり、ここで示した危険性は起こり得る全ての危険性を網羅したものであるということを保証するものではありません。従って、本データそのものは、安全の保証書ではありません。

以上